日本国際経済学会関西支部主催
2015年度国際経済シンポジウム
「EU危機と欧州民主主義」
2016年3月26日　関西学院大学梅田キャンパス

EUの危機とドイツ

立命館大学　星野郁

報告概要

はじめに

1. EUの危機
    1. ヨーロッパ統合における最悪の危機!?
    2. 分裂・弱体化するEU
2. ドイツの危機
    1. ドイツの対ヨーロッパ政策の展開
    2. 強さの背後にあるドイツ経済の弱さ
    3. 難民危機とドイツの政治・社会の変貌
3. 危機の行方
    1. ドイツによるヨーロッパ「支配」の不安定性
    2. 危機の焦点となるギリシャ
    3. 霞む統合の理念と問われるヨーロッパの民主主義

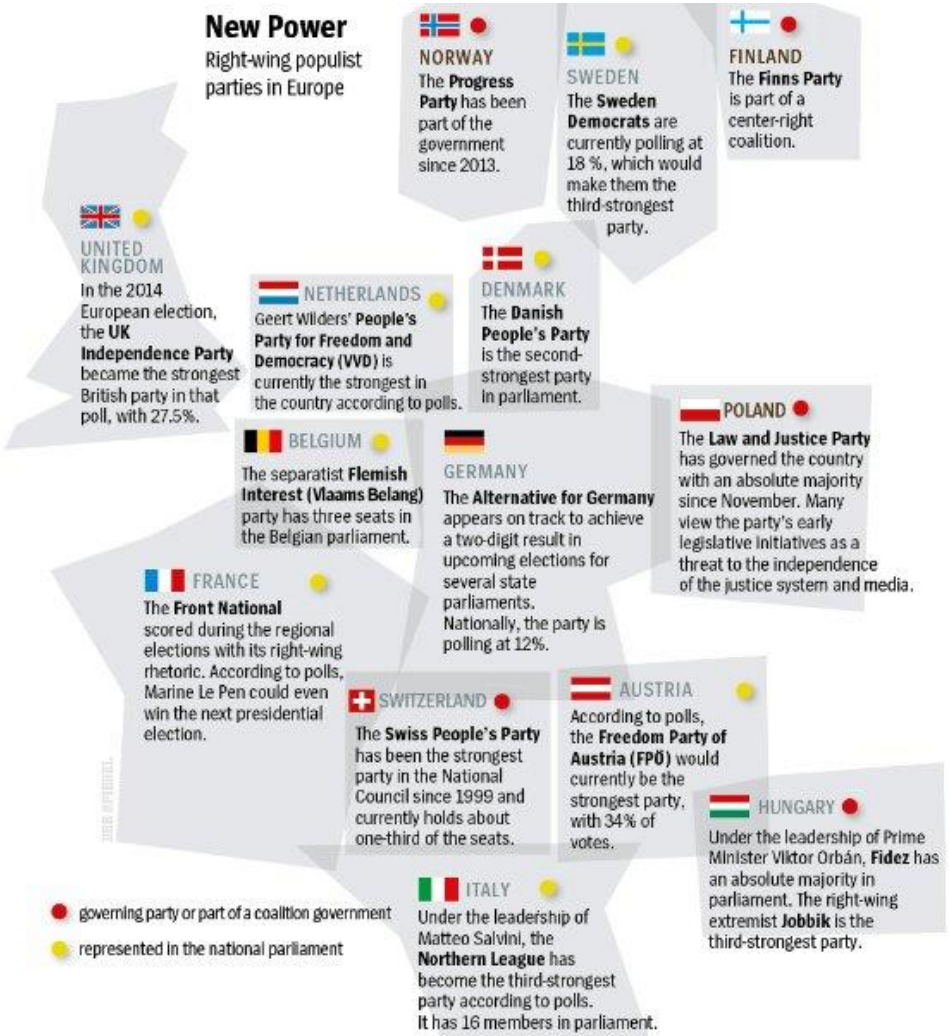
はじめに

- 第2次世界大戦後のヨーロッパ統合の歴史の中で最も厳しい危機：ユーロ危機、経済の長期停滞、デフレ・金融危機再燃の懸念、難民危機、ナショナリズム・排外主義の台頭、宗教対立・テロ、イギリスの離脱、ロシアとの対立、疎遠となる対米関係等
- ジャンモネ・テーゼ：「危機を通じてのみヨーロッパ統合は深化する」 主流派・エリートによるMore　Europe路線の追求　vs. 国民国家に回帰する!?一般大衆
- 危機の焦点に位置するドイツ
- フランスと並ぶヨーロッパ統合の牽引車、ユーロ危機で独り勝ち、ヨーロッパのドイツ化。
- しかし、難民危機を契機に様々な問題が噴出し、メルケル首相の政治基盤が弱体化、経済面でも苦境に。
- EUの危機とドイツの危機の共振!?
- 危機の行方は?

1. EUの危機

1. ヨーロッパ統合における最悪の危機!?
   - 克服されないユーロ危機：不況の慢性化・デフレ懸念の増大、マイナスの金利、銀行システムの動揺、反緊縮派の台頭←ECBの金融政策・銀行同盟、危機対策の限界の露呈
   - ヨーロッパ周辺の地政学の変化と不安定化（ロシアの復活、中東・北アフリカのカオス、アメリカの撤退）
   - 難民危機、宗教テロ→反イスラム・排外主義・反EU・「ポピュリスト」の台頭、加盟国間の対立の激化、ドイツの孤立

ヨーロッパで台頭するポピュリスト政党



http://www.spiegel.de/international/europe/bild-1076259-955052.html

2. 分裂・弱体化するEU

- ヨーロッパ統合の理想：不戦の共同体、自由・平等・民主主義、基本的人権の尊重、人の自由移動、多文化共生、移民の統合、Ever Closer Union→ポストウェストファリア、コスモポリタン的社会の構築

統合の理想　VS.　統合の現実

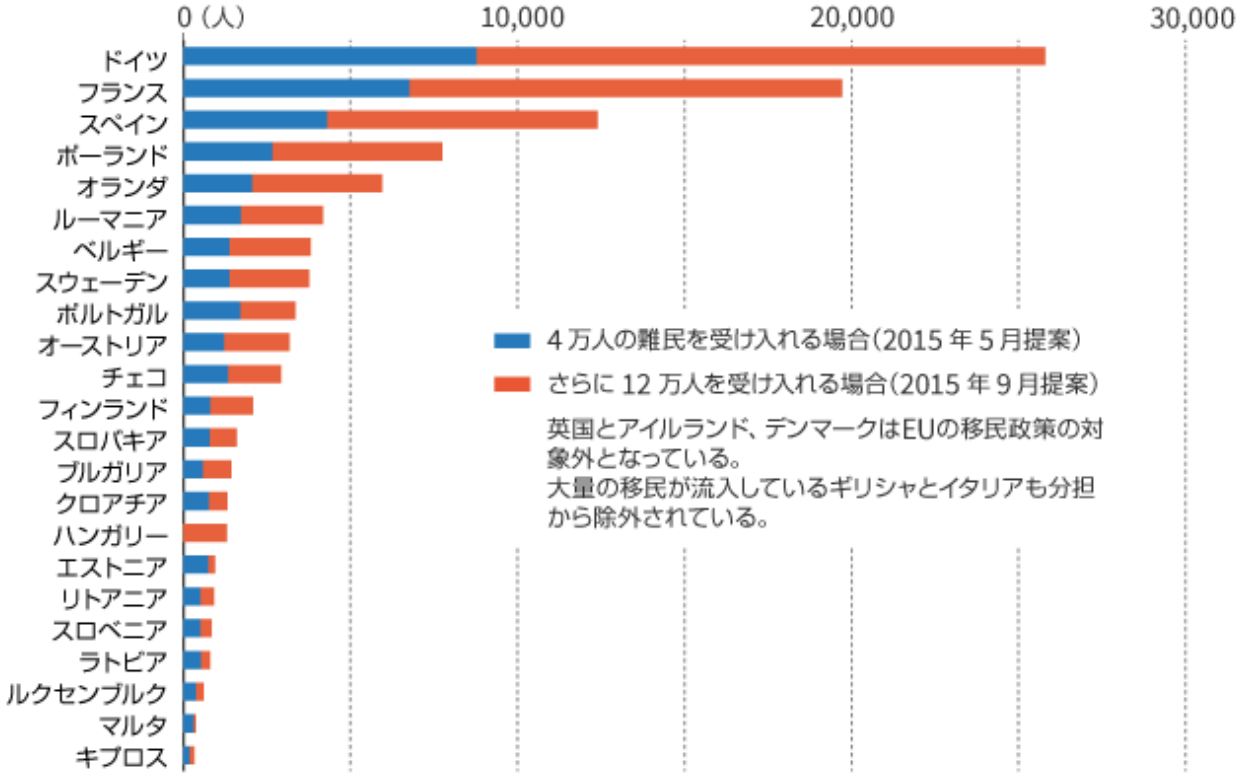
- 難民の受け入れをめぐる対立の激化、シェンゲン条約の有名無実化、ヨーロッパ的次元での解決失敗。Fortress Europe！
- ユーロ危機による南北分断に加えて、難民危機による南北・東西の亀裂の拡大（拡大の失敗か？）
- 歴史、文化、宗教構造（同質（排他的）な共同体、宗教的不寛容、脱宗教）により移民（難民）の受け入れ困難
- 漂流するフランス、離脱に進むイギリス、孤立するドイツ
- 福祉ショービニズムに傾斜する北欧（特にデンマーク）
- 統合のユートピアの消失? 「ヨーロッパは既に死んでいる！」（エマニュエル・トッド）

EU 域内の「難民割り当て」計画

10 月 13 日に仏パリで発生した同時多発攻撃を受け、ポーランド政府は欧州連合（EU）の難民割り当て計画について、安全の保証がなければ実行に移さないと発表した。欧州委員会は 5 月と 9 月の提案で、域内に 16 万人の難民を受け入れた場合の各国の分担割合を定めている。

「難民割り当て」提案

EU 加盟国の国別の分担割合



出典：欧州連合
（2015 年 11 月 15 日作成）

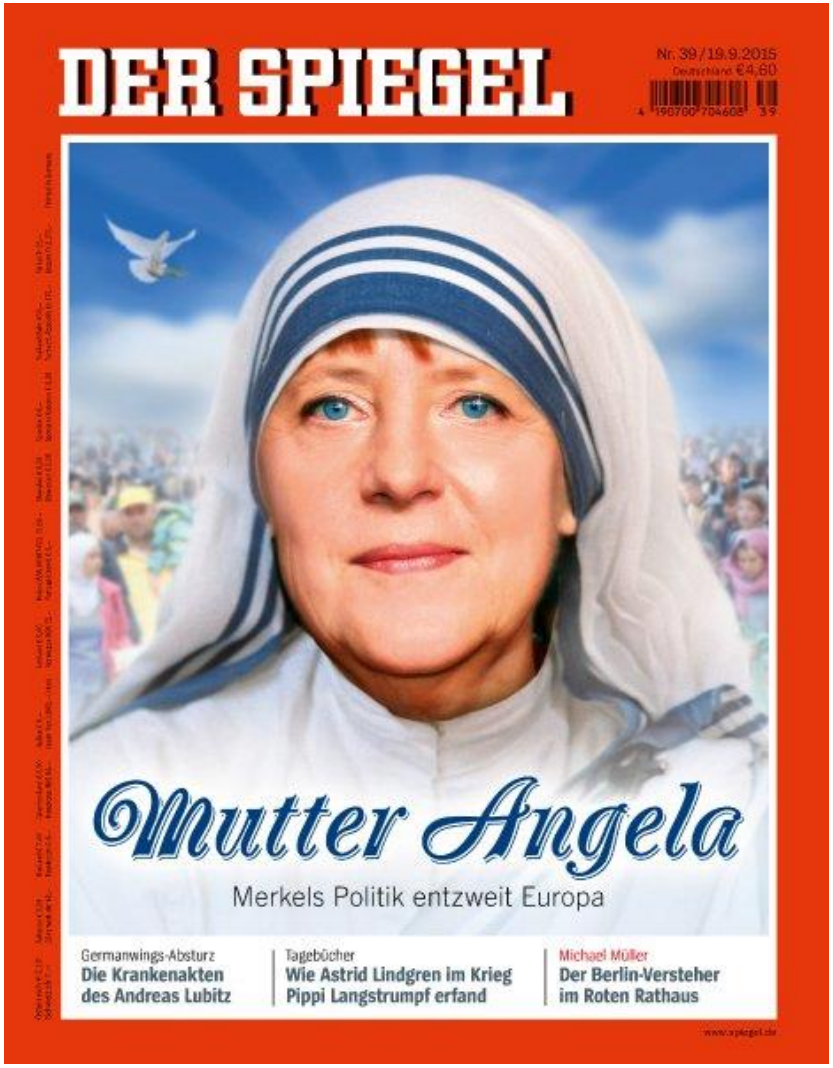
REUTERS

http://jp.reuters.com/news/world/eurocrisis

2. ドイツの危機

1. ドイツの対ヨーロッパ政策の展開
   1. 第2次世界大戦後のドイツの対ヨーロッパ政策
      - ヨーロッパ最強の経済力を基礎にフランス主導の統合を支援
      - EUへの権限移譲、連邦主義、政治統合の推進者？
      - 自国の利益よりヨーロッパの利益を優先
      - 過去の歴史もあって自らヨーロッパを統治できないために、間接統治・支配を狙う？（←サッチャー回顧録）
   2. ユーロ危機以降の国益（国内世論）重視への転換
      - ギリシャ救済、財政同盟（移転同盟）への反対
      - ECBの金融政策に対する批判
      - 銀行同盟・銀行構造改革への抵抗
   3. 難民危機での迷走
      - メルケル、人道支援や理想主義を前面に独走。危機解決のためのヨーロッパ的次元の必要性強調
      - しかし、他のEU諸国および国内の反発と、大量の難民流入による国内世論の反対により、事実上の国境管理の強化。

メルケル・ママ！！



German Chancellor Angela Merkel has long been known for her deliberate, sometimes even hesitant, way of making decisions. But in the refugee crisis, she moved quickly to open up Germany to Syrian refugees. Now, people are increasingly beginning to wonder if she was wise to do so.

http://www.spiegel.de/fotostrecke/photo-gallery-me-my-selfie-and-merkel-fotostrecke-130213.html

2. 強さの背後にあるドイツ経済の弱さ

1. 銀行業界の苦境

- ECBの超金融緩和政策による打撃－極端な低金利（マイナス金利）による運用難（機関投資家、銀行のビジネスへの打撃）
- ドイツ銀行の危機!? ヨーロッパ発の第2のリーマン・ショック?

2. 産業界の苦境

- 揺らぐフォルクスワーゲンの経営、ディーゼル戦略の行き詰まり
- 自動車産業及び輸出に頼った成長戦略（⇔ユーロ維持の利害）
- 産業の空洞化、知識基盤型社会への遅れ、再生可能エネの不調
- 少子・高齢化による労働力不足（⇔移民・難民問題）

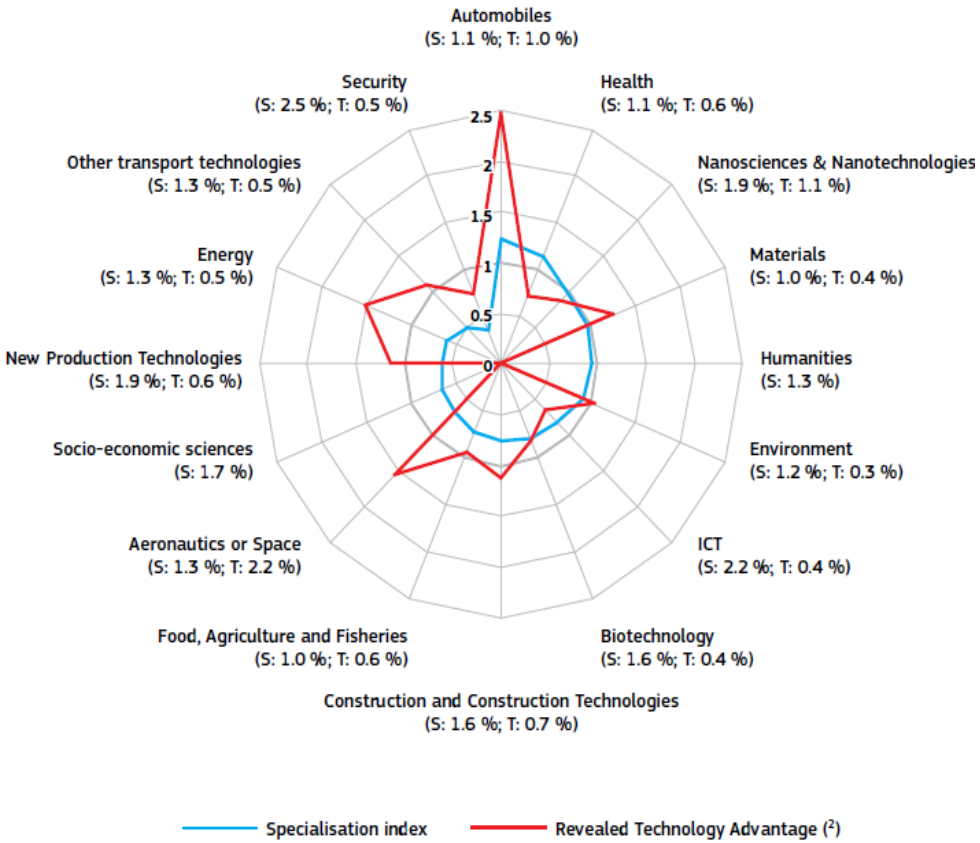
3. 貧困・格差の拡大

- シュレーダー政権下の新自由主義的改革（「アジェンダ2010」、ハルツ改革）→ドイツの競争力改善につながった構造改革の模範）
- 失業・年金給付の引き下げ、低賃金の労働者、正規と非正規雇用労働者の格差拡大⇔資産・法人課税の大幅な緩和
- 結果として著しい所得格差・貧困の拡大、 ピケティの批判（先進国で最も格差の拡大しているヨーロッパ） 輸出に頼る近隣窮乏化策
- 国民の不満の捌け口としてギリシャ問題を利用。「怠け者のギリシャ人」→南欧救済への反発、富裕層の利害のカモフラージュ

自動車部門を筆頭に特定部門に集中するドイツの競争力

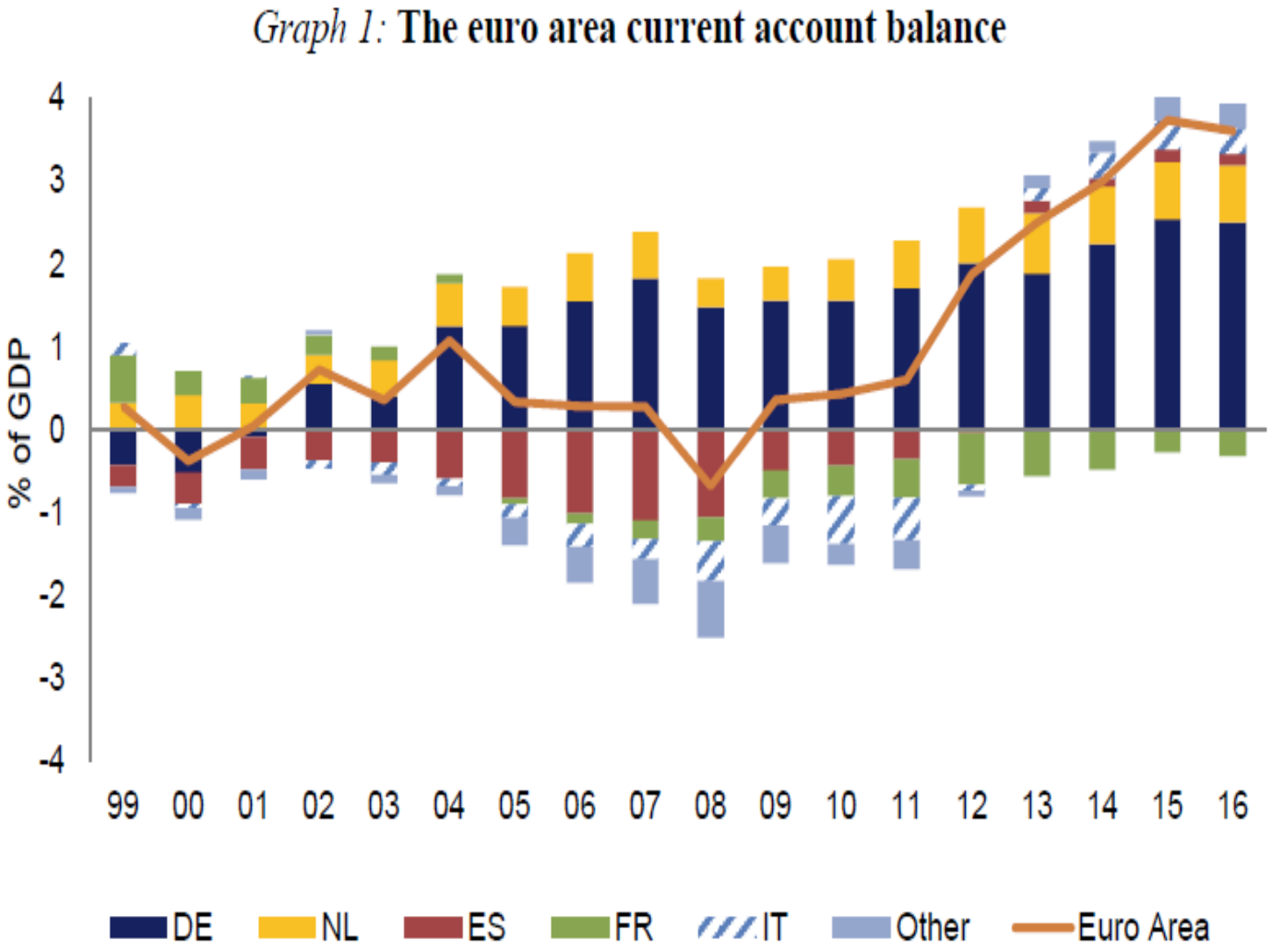
European Commission (2014), *Research and Innovation Performance in Germany, Country Profile 2014*, p.4.

Germany – S&T National Specialisation (1) in thematic priorities, 2000–2010
in brackets: growth rate in number of publications (3) (S) and in number of patents (4) (T)



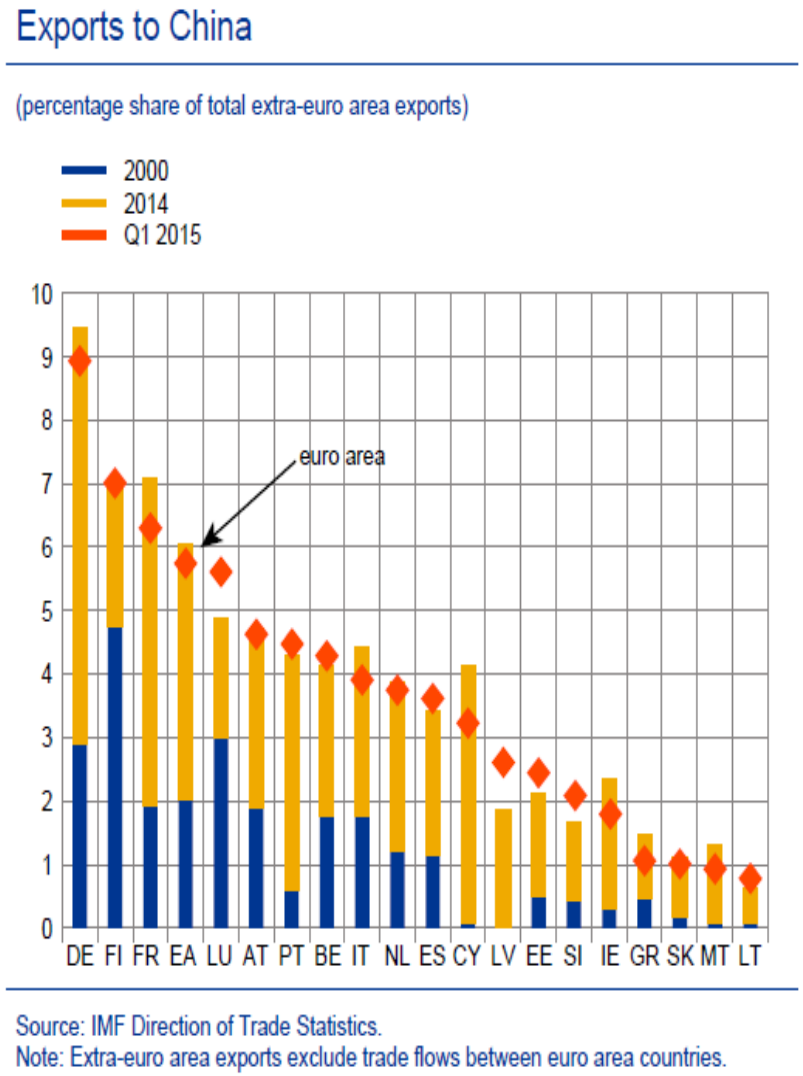
Source: DG Research and Innovation – Unit for the Analysis and Monitoring of National Research Policies
Data: Science-Metrix Canada; Bocconi University, Italy
Notes: (1) Values over 1 show specialisation; values under 1 show a lack of specialisation.
(2) The Revealed Technology Advantage (RTA) is calculated based on the data corresponding to the WIPO-PCT number of patent applications by country of inventors. For the thematic priorities with fewer than 5 patent applications over 2000–2010, the RTA is not taken into account. Patent applications in 'Aeronautics or Space' refer only to 'Aeronautics' data.
(3) The growth rate index of the publications (S) refers to the periods 2000–2004 and 2005–2009.
(4) The growth rate in number of patents (T) refers to the periods 2000–2002 and 2003–2006.

ユーロ圏の不均衡：突出するドイツの貿易黒字



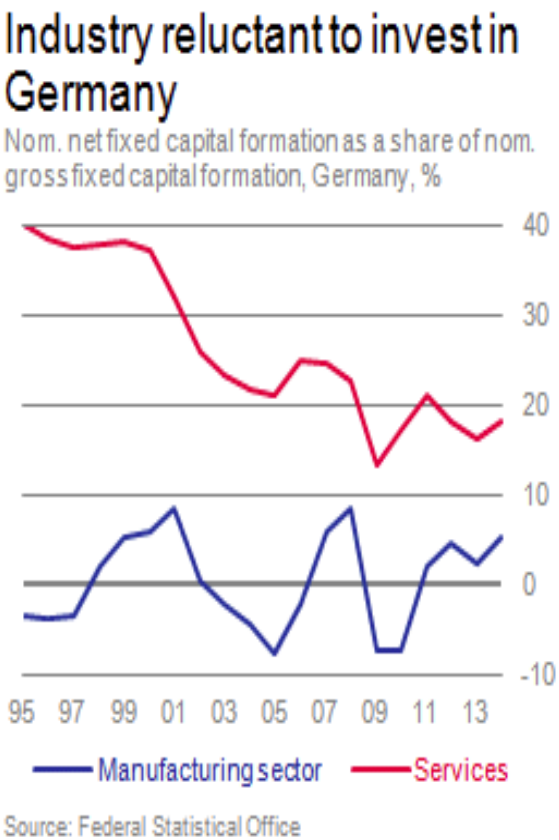
European Commission (2015), *Alert Mechanism Report*, p.7.

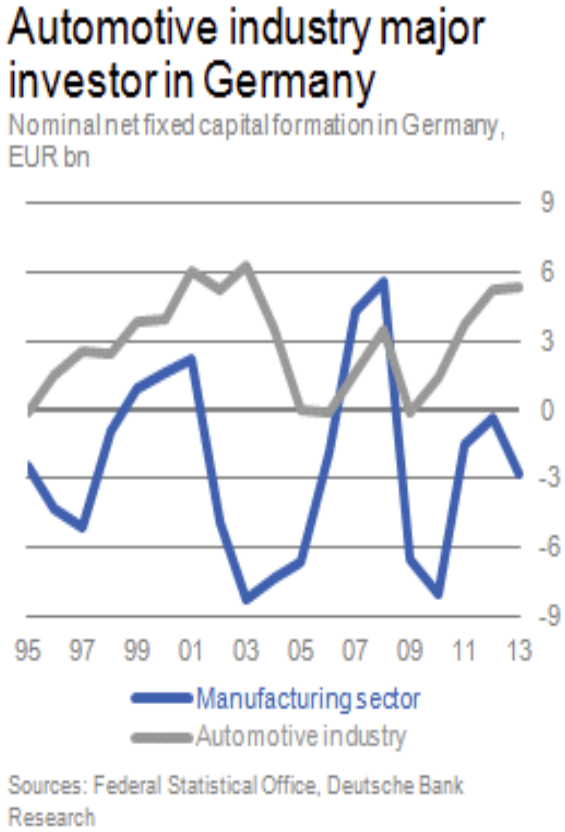
ユーロ圏諸国の対中国輸出依存度

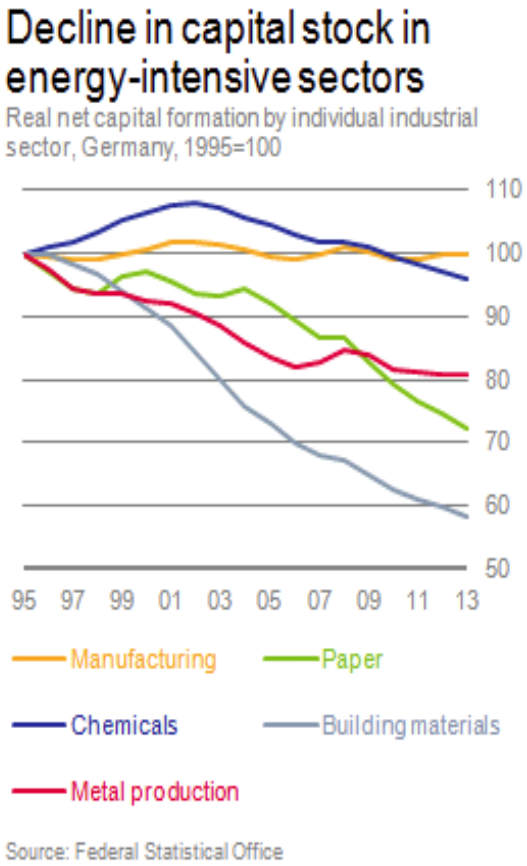


ECB（2015）, *ECB Economic Bulletin*, Issue 7, p.16.

ドイツの産業基盤の空洞化







Heymann, Eric (Deutsche Bank Research)(2015) , Taking Point: Capital stock of many industrial sectors is crumbling in Germany, 19 November,https://www.dbresearch.de/PROD/DBR_INTERNET_EN-PROD/PROD0000000000375661.pdf;RWSESSIONID=37C57BF054C13C394167B61683F4F3E6.srv-tc1-dbr-de

3. 難民危機とドイツの政治・社会の変貌

1. ユーロ危機に際してのドイツの強さの源泉

- ユーロ圏最強の経済力（財政）
- メルケルによるマキャベリズム的な運営、曖昧さ

2. 難民危機でのハンドリングの失敗

- 他のEU諸国に相談せず、一方的に人道支援、オープンな難民受け入れ策を打ち出す（メルケルの理想主義？ ドイツのナルシズム（CDUとSPD）？）

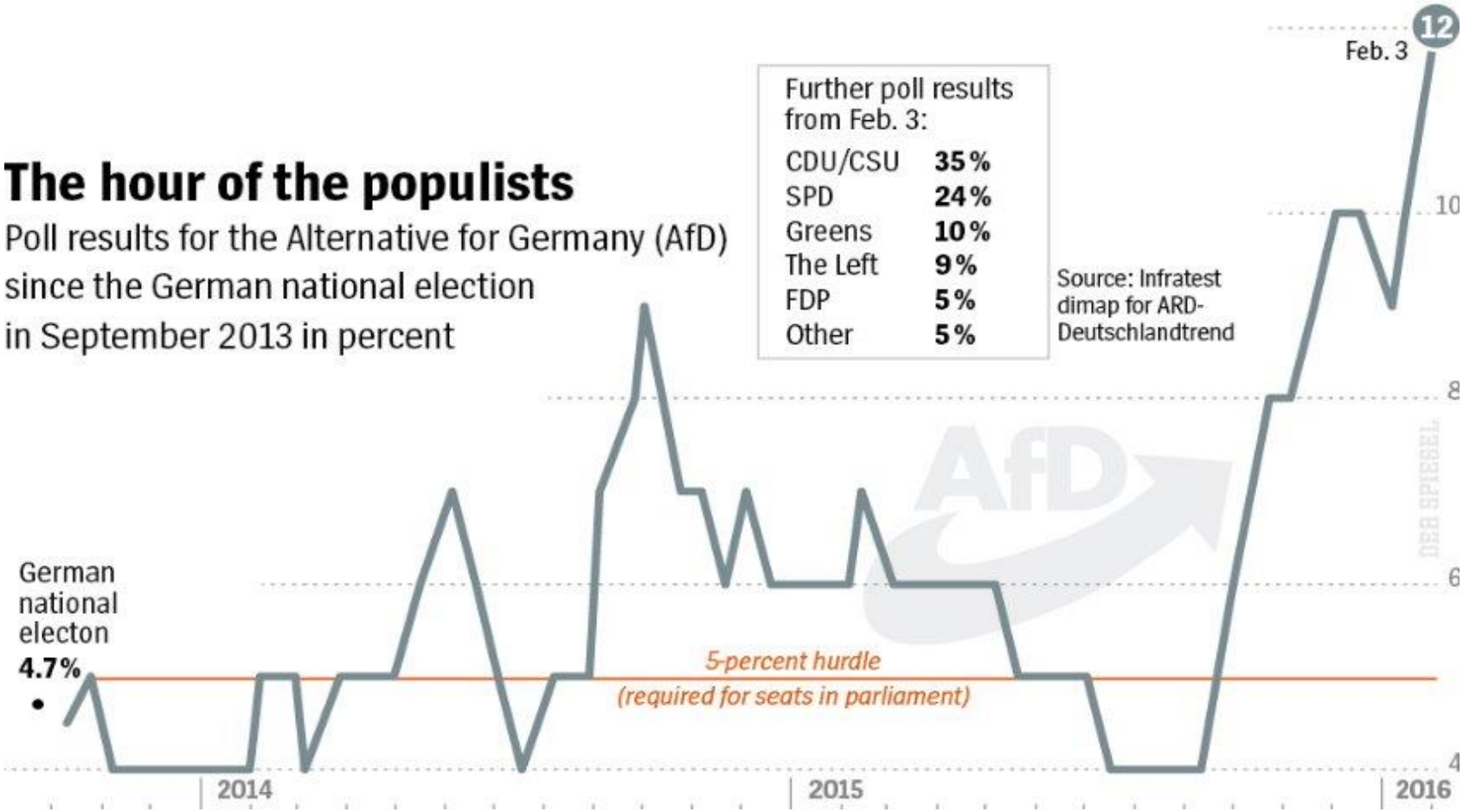
3. 反難民、極右、反イスラム勢力の台頭

- AfD（Alternative fuer Deutschland）：反ユーロ政党から反移民・極右政党への転換で躍進。ネオナチも再び台頭。
- PEGIDA（西洋のイスラム化に反対する欧州愛国者）も出現。
- 旧東ドイツ地域で、反難民、極右、反イスラムの動きが活発化。難民や収容施設の襲撃増加。

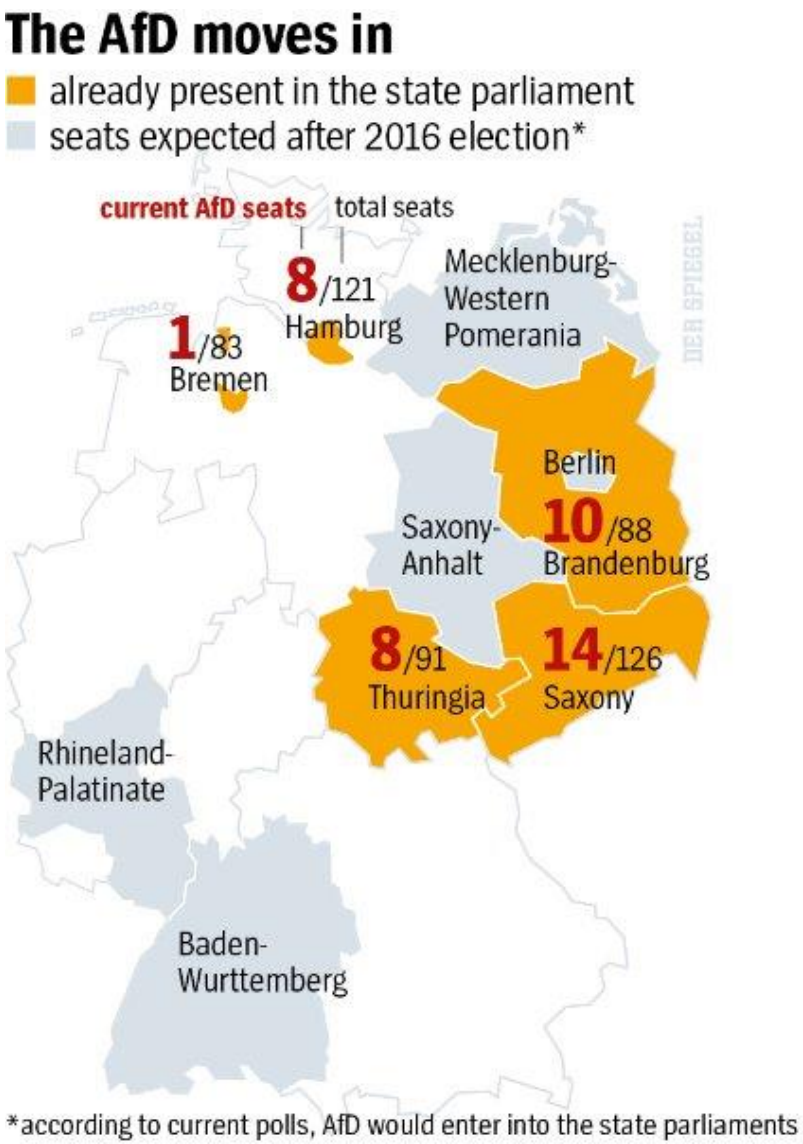
4. ドイツ政治の混迷

- 既成政党の衰退：CDU,SPDの党員は、この20年余りで半分に。親EU・business friendlyであったFDP（自由民主党）の凋落。シュレーダー改革によるSPDからの離反。CDUの左旋回。
- ドイツ国民の親EU路線離れ？
- メルケルの人気凋落 しかし、後継者候補がいない。

台頭するAfD



http://www.spiegel.de/international/europe/bild-1076259-955055.html



http://www.spiegel.de/international/europe/bild-1076259-955054.html

故ヘルムート・シュミット首相
古き良き時代のドイツの賢人政治家?

Helmut Schmidt served as German chancellor from 1974 to 1982, but his impact on Germany went far beyond the years he spent in the Chancellery in Bonn. In the several decades since he left office, he became the country's most important commentator on political and current events.

http://www.spiegel.de/fotostrecke/helmut-schmidt-fotostrecke-131870.html
http://www.spiegel.de/fotostrecke/photo-gallery-helmut-schmid-t-life-in-pictures-fotostrecke-131808-27.html

3. 危機の行方

1. ドイツによるヨーロッパ「支配」の不安定性
   - アメリカの支援によるヨーロッパ統合、フランスとのパートナーシップ、フランスを前面に立て、後方支援に徹し、自らが主導権を握ることを自制。
   - ユーロ危機で意図せざる形で主導権を握る。フランスの凋落とドイルへの隷属？　米国との関係の疎遠化。しかし、歴史的にみて、ドイツが主導権を握るとヨーロッパは不安定化。
   - 権威主義、家父長的ドイツによるEUの階層化?←ギリシャ危機
   - 難民問題のハンドリングの失敗とドイツの孤立
     - イタリアの反発（難民問題でずっとEUの支援を得られず、メルケルは、オランドとユンカーとだけで決めようとしている（レンツイの苦言）
     - Visegrad Group（ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア）の反乱（オルバン・ハンガリー首相：Moral Imperialism！　難民危機はドイツの問題！）
     - 兄弟分オーストリアの離反：国境管理の厳格化
   - 最後の頼みの綱としてトルコに難民収容施設建設要請。EU加盟と引き換え？　クルド抑圧の容認？

2. 危機の焦点となるギリシャ

- ユーロ危機に苦しむ最中に難民危機でも混乱の真っただ中に追いやられる。
- ヨーロッパへの難民の中継地、バルカンの国境封鎖によるギリシャでの難民滞留
- ギリシャに厳格な入国管理要求
- 救済の緩和とバーター？　何百キロもある海岸線をどうやって監視できるか？人道支援の観点から難民を放置していいのか？
- 燻る第4次ギリシャ救済の可能性
- 年金改革に対するチプロス政権の抵抗
- 他方、ドイツ政府は、年金改革の実行には強硬姿勢。妥協したらドイツ議会でギリシャ支援の同意を得られない。→ドイツの民主主義がギリシャ人の生命を左右!?
- 反EU・反移民極右政党（ギリシャの夜明け）の台頭？
- ギリシャの混乱の継続は避けられず

3. 霞む統合の理念と問われるヨーロッパの民主主義
   1. 統合の理想、ユートピアの消失!?
      - 何のため、誰のためのヨーロッパ統合？
   2. ドイツ問題再び
      - 強くて弱いドイツによるヨーロッパ「支配」
   3. 一国民主主義と階層的ヨーロッパ（ないしアリストクラシー）との相克
      - ギリシャをはじめとする南欧民主主義の蹂躙 vs.ドイツやイギリス、EU官僚支配
   4. ヨーロッパ人の、さらには自国民のためだけの民主主義？